【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公開番号】特開2007-309323(P2007-309323A)
【公開日】平成19年11月29日(2007.11.29)
【年通号数】公開・登録公報2007-046
【出願番号】特願2007-132037(P2007-132037)
【国際特許分類】
Ｆ０２Ｂ　39/16　(2006.01)
Ｆ０２Ｂ　37/18　(2006.01)
Ｆ０２Ｂ　37/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０２Ｂ　39/16　Ｆ
Ｆ０２Ｂ　37/12　３０１Ｇ
Ｆ０２Ｂ　37/12　３０１Ｑ
Ｆ０２Ｂ　39/16　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月14日(2010.4.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
調整リング（６）により調整できる複数の案内羽根（２）を備え、前記調整リング（６）が、調整リング（６）の円周に分布された少なくとも2個の連結装置（８）を介して調整装置（１０）に連結されている、排気駆動式過給機のタービンの案内羽根装置において、
案内羽根装置が、案内羽根を調整するために調整装置によって連結装置に与えられた力を直接および又は間接的に検出するための力検出装置と、および／又は、連結装置が取っている位置を直接および／又は間接的に検出するための位置検出装置を有し、案内羽根装置がさらに、調整装置によって各連結装置に与えられた力および／又は連結装置が取っている位置を相互に比較するためおよびその比較結果を排気駆動式過給機の制御装置に伝えるための監視装置を有していることを特徴とする排気駆動式過給機のタービンの案内羽根装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
各連結装置が調整装置の別々のアクチュエータに連結され、力検出装置が、アクチュエータが受けた動力と、アクチュエータにより発生された力および／又はトルクと、および／又は、各連結装置および／又は調整リングに作用する力および／又はトルクとを検出することを特徴とする請求項１に記載の案内羽根装置。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項４

【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】
調整装置（１０）によって両側終端位置間を調整可能な複数の案内羽根（２）を備えた、重油燃料の往復動内燃機関における排気駆動式過給機の軸流タービンの案内羽根装置の機能を、排気駆動式過給機の運転前、運転中および／又は運転終了後に確保する方法において、案内羽根を両側終端位置の一方の位置に変位調整する段階と、案内羽根をその一方の位置から出発して両側終端位置の他方の位置に変位調整する段階とを有していることを特徴とする、重油燃料の往復動内燃機関における排気駆動式過給機の軸流タービンの案内羽根装置の機能確保方法。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
このために特許文献１に、案内羽根とこの案内羽根がその中に配置されている流路の壁面との間に固着した固形粒子を、案内羽根の回動で削り取るように、流路壁面に対して案内羽根に与圧を与えることが提案されている。しかしこれでは、異物付着が認識できず、あるいは、調整機構全体において異物付着が防止できない。
【特許文献１】独国特許出願公告第１０３１１２０５号明細書
【特許文献２】独国特許出願未公開第１０２００６０２３６６１．６号（発明の名称"排気駆動式過給機の軸流タービンの案内羽根装置"）